

環境科学院 地球圏科学専攻

修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】 平成25年2月6日（水）

●座長：山下 洋平（大気海洋化学・環境変遷学コース准教授）

9：15－9：35 中田 和輝（大気海洋物理学・気候力学コース）
「南極ロス棚氷ポリニヤの変動機構と海氷生産収支」

9：35－9：55 高島 知充（大気海洋物理学・気候力学コース）
「千島海盆を中心とするオホーツク海の季節変動に関する研究」

9：55－10：15 野間 恵理子（大気海化学・環境変遷学コース）
「ODP Site 1237 堆積物から見た後期漸新世以降の陸源碎屑物
供給パターンおよび海洋環境の変遷」

10：15－10：35 中村 恵（大気海洋化学・環境変遷学コース）
「東シベリア永久凍土中のメタン蓄積」

<15分休憩>

●座長：山崎 孝治（大気海洋物理学・気候力学コース教授）

10：50－11：10 西方 彩乃（大気海洋物理学・気候力学コース）
「西部北太平洋における移行域モード水の形成メカニズム」

11：10－11：30 村中 里衣（大気海洋物理学・気候力学コース）
「黒潮・黒潮続流上の大気境界層内における非地衡風成分の特徴」

11：30－11：50 野田 朝美（大気海洋物理学・気候力学コース）
「ウェッデル海東部における南極底層水の暖水化傾向」

11：50－12：10 福田 康朗（大気海化学・環境変遷学コース）
「森林大気中の糖類及びSOAトレーサーの組成と日変化」

<1 時 間 休 憩 >

●座長：江淵 直人（大気海洋物理学・気候力学コース教授）

13：10－13：30 小林 大祐（大気海洋化学・環境変遷学コース）

「チュクチ海とその周辺域の碎屑鉱物の分布とその
古海洋学的応用」

13：30－13：50 本内 奈津子（大気海洋物理学・気候力学コース）

「熱帯の季節内振動に伴う東アジア域の降水変動とその要因の
定量的評価」

13：50－14：10 大上 真寅（大気海洋物理学・気候力学コース）

「強い潮流による渦対の形成とその後の時間発展」

14：10－14：30 飯岡 祐貴（大気海洋物理学・気候力学コース）

「安定接地層における気流水平構造の可視化計測」

<1 5 分 休 憩 >

●座長：杉山 慎（雪氷・寒冷圏科学講師）

14：45－15：05 稲垣 成一（大気海洋化学・環境変遷学コース）

「Fe(II) クリーン分析計の開発と海氷域における Fe(II) の
定量的評価」

15：05－15：25 林 侑斗（大気海洋物理学・気候力学コース）

「オホーツク海沿岸に設置した2台のドップラーレーダを用いた
海上で発達する筋雲の構造と形成要因の解明」

15：25－15：45 伊藤 薫（大気海洋物理学・気候力学コース）

「渦と内部波の相互作用」

15：45－16：05 吉田 なつ美（大気海洋化学・環境変遷学コース）

「流域環境が渓流水中の溶存有機物動態に及ぼす影響」

【第2日目】 平成25年2月7日（木）

●座長：渡辺 豊（大気海洋化学・環境変遷学コース准教授）

9：15－9：35 蒲山 裕起（雪氷・寒冷圏科学コース）
「霰の落下速度と粒径分布の定式化及びその応用」

9：35－9：55 日比野 敬司（大気海洋物理学・気候力学コース）
「九種の再解析データを用いた大規模火山噴火時の
気温変化量の評価」

9：55－10：15 今井 悠雅（大気海洋物理学・気候力学コース）
「領域大気モデルを用いたメソスケール降水システム
（平成24年・筑波竜巻）の研究」

10：15－10：35 遠藤 貴裕（大気海洋物理学・気候力学コース）
「南極海における表層塩分の長期変動に関する研究」

< 15分休憩 >

●座長：水田 元太（大気海洋物理学・気候力学コース助教）

10：50－11：10 都築 佑太（大気海洋化学・環境変遷学コース）
「北海道水同位体マップ及び無機態窒素マップの作成」

11：10－11：30 谷澤 隼人（大気海洋物理学・気候力学コース）
「夏期と秋雨期の降水と水輸送」

11：30－11：50 大賀 友貴（大気海洋物理学・気候力学コース）
「東京のオゾン濃度とエアロゾル数濃度の長時間変動特性
および短時間変動に及ぼす大気境界層の影響」

11：50－12：10 清水 大粋（雪氷・寒冷圏科学コース）
「理想化した盆地地形における夜間冷却過程に関する数値解析」

< 1 時 間 休 憩 >

●座長：関 幸（大気海洋化学・環境変遷学コース准教授）

13：10－13：30 鈴木 裕太（大気海洋物理学・気候力学コース）
「オホーツク海サハリンポリニヤの形成・変動ダイナミクス」

13：30－13：50 田中 美菜子（大気海洋化学・環境変遷学コース）
「オホーツク海南部・日本海北部の表層水中における
主要栄養塩及び鉄の地理的分布」

13：50－14：10 榊原 大貴 （雪氷・寒冷圏科学コース）
「Ice front variations and velocity changes of calving
glaciers in the Southern Patagonia Icefield 」
(南パタゴニア氷原におけるカービング氷河の末端変動と流動変化)

14：10－14：30 新井 徹 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「花粉センサを利用した雲粒子ゾンデの開発」

< 15 分 休 憩 >

●座長：下山 宏（雪氷・寒冷圏科学助教）

14：45－15：05 鷹野 真也（大気海洋化学・環境変遷学コース）
「東シベリアタイガ－ツンドラ境界における凍土及び
表面水の水安定同位体比の観測」

15：05－15：25 山木 望愛 （大気海洋物理学・気候力学コース）
「熱帯対流圏界層内ケルビン波構造に伴う水蒸気変動」

15：25－15：45 野坂 圭 （大気海洋化学・環境変遷学コース）
「森林における低分子ジカルボン酸・脂肪酸の組成と日変化」